

暗唱のすすめ 〈近代詩編④〉



ふるさとは遠ときにありて

室む生ろ犀う星さい

ふるさとは遠ときにありて思おもふもの

そして悲うれしくうたふもの

よしや

うらぶれて異い土どの乞食かたとなるとても

帰かるところにあるまじや

ひとり都みやこのゆふぐれに

ふるさとおもひ涙なみだぐむ

そのころもて

遠ときみやこにかへらばや

遠ときみやこにかへらばや